



鳥取市教育センターだより

第4号 平成29年12月25日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

感謝

所長 半田 雅人



果実が極限まで熟した状態を表す意味があるとされた「酉年」も、あとわずかとなりました。まずは、この一年、すべてのみなさまに、子どもたちの夢や希望の実現に向けて教育にご尽力いただきましたことに感謝いたします。

鳥取市教育センターも、教職員研修やイングリッシュキャラバン、ひらがな音読支援や教育(就学)相談等による特別支援教育の充実、適応指導教室の運営等に取り組んできました。これらの業務は、先生方や関係のみなさまのお力添えがあってこそ実施できており、所員一同、感謝しております。

さて、先頃配信させていただいた「教職員研修リーフレット」でもお知らせしましたが、平成30年度、鳥取市は中核市へと移行し、県が定める「教職員育成指標」を踏まえて研修を実施します。本市課題の解決を目標に、効率化・焦点化して研修を実施しますが、一部、県研修を引き続き活用する部分もあり、詳細については年明けよりお知らせしていく予定です。

研修の実施に際しては、学校や関係の皆様との連携が今まで以上に大切になります。引き続き、鳥取市教育センターへのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

子どもから学ぶ（ある先生の言葉から）

子どもたちと一緒に生活していると、自分（教師）よりずっとすぐれた能力、優しい人柄、大人では考えられない発想や行動力に驚かされることがあり、「子どもの力」ってすごいと感じることが度々ありました。（単に成績が良かったり、〇〇能力にすぐれていたりしているということではありません）その時は、他の先生方と「子どもたちに教えられたなあ。」と話し合っていたことを記憶しています。

年が過ぎ、最近では少し違うことを感じています。教師にとって不都合な、あるいは厳しく痛い投げかけから学べた時こそ、子どもから学んだと言えるのではないかと思います。教師の目には不適切、わがまま、乱暴、非常識…と思える背景に、子どもの思いや感情、考えがあるのを理解し、自らを省みることができた時こそ、子どもから学んだといえるのではないのでしょうか。

否定したくなるような子どもの行動を通して、新しい価値や見方に気付けたときこそ、子どもから学んだといえるのではないかと思います。でも、簡単なことではありません。

教師は、どうしても「指導する」という姿勢になりがちですが、自分にとって不都合な出来事から学ぶことを忘れてはならないと感じます。

特別支援教育係

第2回鳥取市教育支援委員会

11月30日

鳥取市内の幼稚園・保育園・小・中学校からは、121名の申請があり、次年度の就学・進学先の判断や、必要となる教育支援を検討しました。就学相談や資料作成について、大変お世話になりありがとうございました。判定結果をもとに、来年度の準備を進めてください。

教育支援委員会では、次のような意見が出されました。進学先を決めることは、一生を左右する大切な機会です。以下のことを、今後の就学相談に活かしてください。

●見学や体験を必ず行って進学先の選択を！

6月～7月には、特別支援学校や特別支援学級の見学や体験を実施した上で、保護者・本人が、安心・納得して進学先を選択できるよう、見通しを持って働きかけをお願いします。特別支援学校によって、見学や体験を受け入れる時期が異なっています。保護者への情報提供を早目にしてください。



●実態に合わせた就学相談を！

学習障がいやADHDは、通級による指導の対象です。特別支援学級に入級を希望しても、入級できない場合があります。関係機関との相談を重ね、就学基準（「就学事務の手引き」H27 県教委特別支援教育課HP）や診断書等を参考に、保護者に適切な情報提供を行いながら就学相談を進めてください。

❀ 次年度に向けて お願い ❀

- 小学校6年生の特別支援学級入級児童は、中学校進学に向けて必ず教育支援委員会への審査申請が必要です。できるだけ第1回の教育支援委員会に申請してください。
- 申請資料については、診断書の作成・発達検査等に時間がかかると思います。校内で協議を行い、保護者とともに計画的な申請準備を進めてください。

平成30年度の第1回教育支援委員会は、9月13日の予定です。



☆お知らせ☆

平成30年度通級指導教室（ひびきの教室）入級審査会は、3月1日（木）です。

（申請締切：2月15日（木）厳守）

申請前に校内教育支援委員会、通級指導教室担当者・LD等専門員との教育相談等が必要ですので、準備を進めてください。来年度に向けて、見通しを持った校内支援体制の充実をお願いします。

第2回学力向上研修会

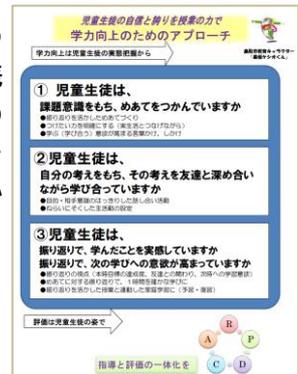
研修企画係

「次の学び意欲につなげる振り返り」の実践を!

10月26日(木)に開催された第2回学力向上研修会では、授業での「振り返り」について、修立小、美保小、気高中、福部未来学園中の実践報告をもとに、各学校の学力向上担当者が今後の授業改善、学力向上への取組を協議しました。協議では「振り返りの視点の揭示」や「振り返りを家庭学習に結びつける」、「振り返りを次時のめあてづくりに活かす」といった提案が得られました。

リーフレット「学力向上ためのアプローチ」を配信!

- ・第2回学力向上研修での協議内容を反映させ、再編集しました。
- ・各校にメール配信していますので、ご活用ください。



第5回初任者校外研修会

考え、議論する道徳の授業づくりを目指して

小学校2名、中学校1名の初任者が道徳の授業を公開し、授業研究会を行いました。授業者は、校内の先生方の助言を受けながら入念に授業準備を行い、子どもたちに考えさせ、主体的に話し合わせるができるよう、発問や展開を工夫した授業を行いました。

授業後の研究会では、中心発問や補助発問、板書等の工夫について、授業中の子どもたちの姿を基に、日頃の授業での悩みも交えながら活発な意見交換が行われました。



11/27(月) 東中学校
森 俊明 教諭

- 「明かりの下の燭台」
- ・じっくり生徒に語りかけ、自分と向き合わせて考えさせていました。



11/28(火) 中ノ郷小学校
大塚 良美 教諭

- 「黄色いベンチ」
- ・何でも話せる温かい雰囲気の中、授業のねらいに迫ることができました。



12/11(月) 賀露小学校
太田 美樹 教諭

- 「お母さんのせい求書」
- ・家族からの手紙に、思わず微笑み、涙があふれてしまう場面がありました。

「匠」に学ぶ授業づくり

第2回講師研修会



小学校4校、中学校3校の先輩教師に授業公開していただきました。授業後には、校長先生、先輩教師の講話と研究協議を行い、教師としての心構えや日頃の授業づくり、学級経営で大切にしていることを学びました。

【参加者の感想】

- ・子どもに向き合い、授業に向き合う姿勢がとても参考になりました。
- ・子どもたちを認める声かけ、信頼する声かけがとても参考になりました。明日からもっと笑顔で子どもたちに接します。
- ・校長先生から教わった「教師としての姿勢」を大切にし、明日の授業から、もっと子どもたちの心と体を動かしていきたいと思えます。

《研修会場校》

11/20(月) 国府中学校
11/21(火) 福部未来学園中学校
11/22(水) 久松小学校

☆ご協力ありがとうございました。

11/29(水) 岩倉小学校
12/7(木) 青谷小学校、河原中学校
12/8(金) 河原第一小学校

きなんせ！English World

たくさん英語で話したよ！



11/8(水) 末恒小学校



11/22(水) 中ノ郷小学校
キャラバン！



12/6(水) 面影小学校

本年度は、小学校15校、中学校5校でキャラバンを行いました。ALTと活動を楽しみながら、コミュニケーションできました。



12/16(土) 本年度3回目の「きなんせ！English World」を開催しました。

小学校5・6年生32名が、17名のALT等と、クリスマスにちなんだ3つの活動を行いました。子どもたちは、ALTと積極的に英語でやりとりし、楽しい時間を過ごしました。

平成30年度 鳥取市教職員研修が かわります！

鳥取市は、平成30年4月1日の中核市移行に伴い、教職員研修を主体的に企画・実施することになりました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて、独自に研修を実施します。

第59条（中核市に関する特例）

・中核市の県費負担教職員の研修は、当該中核市の教育委員会が行う。



鳥取市教職員研修の基本方針とメリット

鳥取市の課題に焦点化した研修

学校不適応の未然防止・学力向上に向けて、全教職員が共通の方向性(ベクトル)のもと、実践に生かすことができる研修を企画します。

特別支援教育に軸足を置いた研修

特別支援教育の視点を中心に、複数のキャリアステージを貫く研修課題を設定します。

人材育成の視点をふまえた研修

メンター育成のための実践的な研修を取り入れ、受講者一人一人の力量を高めることで、校内OJTを支援します。

効率的で実のある研修

県と同一の教職員育成指標に基づいて日程・内容を精選し、基本研修と職務研修等を組み合わせたコラボ研修等により、研修内容を学校運営に生かすことが期待できます。

教職員研修の概要

中核市移行後は・・・

キャリアステージ
に対応した研修

中堅教職員の育成に重点を置きながら、それぞれのキャリアステージに応じた研修を実施します。一部県の研修に参加し、効果を高めめます。

職務に応じた
研修

管理職や主任・主事等を対象に、鳥取市がめざす教育をふまえた研修を実施します。必要に応じて県の研修にも参加します。

専門性を高める
研修

喫緊の課題について独自の研修を実施します。希望者は引き続き県の研修に参加できます。

引き続き
県の研修に参加し
充実を図ります。

- ・国や県の重点内容を学ぶ研修
- ・養護教諭や事務職員の専門職にかかわる研修
- ・他地域の教職員との交流研修